



子どもが輝き、教職員が健康で働きやすい職場を！

学校づくりアンケートに寄せられた声から

尾北教方では、毎年、教職員向けの「子どもが輝く学校づくりアンケート」に取り組んでいます。今年度も、さまざまな声が寄せられています。アンケートにご協力いただきありがとうございます。アンケートに寄せられた声の一部を紹介しながらそれぞれの課題について一緒に考えたいと思います。

道徳の教科化

(評価)

◎評価方法に困っています。学校から指定された記述内容を行うと、一人一人に非常に時間がかかったり、苦勞したりするので、共通の固定した定型文があるといえます。

◎評価されるとなると、正しいことを言わなくてはならないと思う生徒が増え、本来の道徳から外れていく可能性を感じる。また、多忙化解消どころか、評価が増えて負担。

◎通知表と要録の記載を同じでいいようにしてほしい。

◎生徒の本心をどこまで引き出せるのか評価をするという心配。

◎そもそも教員が人の道徳性について評価できるような立場かどうかという疑問があります。

◎特別支援学級を受け持っているが、う

まく心を表現できない子たちなのに、評価しなくてはいけないので困っている。低学年も同じです。

(授業内容)

◎教科化になった以上、やらざるを得ないが、答えありきの授業となる。評価も難しく、教師が行うのも危ない。

◎自分のクラスの実態に合わせて授業を行うということがやりづらく、自由度が減ってしまった。

◎個人の問題としてのみとらえるのでなく、社会をよくすることや主権者としての意識を高める教材が必要だと思います。

(教科書)

◎検定用教科書の内容が難しく、子どもの実態に合っていないように感じました。考えさせたい場面の答えらしい文面が載っているのが、答えの誘導につながっているように思いました。

◎「必ず教科書を使わなくてはならない」という圧力を感じ、やりづらい。

小学校での英語教科化

◎教科書の題材の中には「？」と違ってしまつものも、たまにある。教師用が各担任分あるとありがたい。

(教える不安・専科が必要)

◎学習内容がかなり深まり教材研究などの負担が懸念されます。音楽と同様に、専科を配置していくことが望ましいと考えます。

◎英語講師や専科教員を配置して担任任せにしないようにしてほしい。

(英語嫌いを生み出す)

◎次々と単語が出てくるので興味よりも能力差が広がっている気がする。活躍する子は、結局、英語を習っている子という現状。

◎望ましいとは思いますが、英語嫌いが増え、格差が一段と広がることもある。

(多忙化「拍車」)

◎NETの先生との打ち合わせがとれないままTTで授業を行うことが多いです。空き時間を増やして打ち合わせができるようにしてほしいです。

◎ALTとの打ち合わせに、苦勞しています。ALTの勤務時間の関係で、本来、子どもに使うべき時間や、休み時間を、打ち合わせの時間に毎週のごく使われていきます。

(英語の早期学習「疑問」)

◎日本語による思考の安定が完了していない小学生には、教科として教え評価するのはなく総合的な人間形成の幅として

提供する程度でよいのでは。

◎本場に英語が小学校から必要なのだろうか。日本語もままならない子どもたちに国語の基礎基本からしっかり学びべきではないか。

◎英語は中学校で学ぶことに意義があると思う。

全国学力テスト

(中学校の英語調査)

◎英語のリスニングやヒアリングができるのか？すべて抽出でよい。

◎難しすぎる。文法や単語ばかり基本をきちんと教えるべし。総合をなくして、英語を週7時間くらいにする必要があるのではないか。

(全国学力テスト)

◎学力テストで調査する学力と学校教育で育む学力がずれている。学力テスト実施が本当に意味があるものか疑問である。

◎毎年の必要性はない。裏で指導力とかの教師の評価にも使われていないか心配である。

◎公の機関に民間のような競争を持ち込まない。それは、医療や福祉も同じである。国が守るべきものだと思う。

教職員の多忙化解消

(朝部活の見直し)

◎賛成。多忙化の解消に向けてよい。
◎朝は運動に適していない。

- ◎管内全てで朝練中止をー
- ◎教師の多忙化解消の為に部活動のあり方を見直すことは必須。朝部活は一緒になくすべきもの。

- ◎見直しはいいが、部活動にやりがいを感じている教員もいることを知ってほしい。

- ◎練習をやりたい生徒の気持ちが心配。部活へのモチベーションが下がるのでは。希望制がよかった。

(学校訪問の見直し)

- ◎学校訪問の指導講評をなくす。
- ◎学校訪問は形式的で、心に響くアドバイスはないので不要。校内の教員どうして学び合う方がメリットが大きい。
- ◎学校訪問は、2年に1度でよいと思います。秋にやって、次年度の春にやって意味があるのでしょうか。県内の他地域では少ないという声もあります。

(仕事を減らす)

- ◎仕事の量そのものを減らさなければ多忙化解消にならないと思います。その改革を思い切っ行ってほしい。
- ◎在校時間が減っても、家に持ち帰ってれば、何も変わらない。
- ◎勤務時間内に仕事が終わらせれるように、空き時間がほしい。現在、週26時間、空き時間はない。

(各種行事や業務の見直し)

- ◎学校内の行事見直しや精選への取り組みを、管理職より提起してもらえると実行しやすい。
- ◎学習発表会を学級(学年)の授業参観程度にするなど思いきった改善が必要。
- ◎形式的な週案の廃止及び所見の廃止、個人懇談会の充実(そこで所見の内容を話す)

(教育条件や勤務条件の整備)

- ◎勤務時間を管理するのではなく、仕事内容を見直してほしい。人を増やしてほしい。

- ◎35人以下学級を継続してほしい。
- ◎人がどんどんやめ、非常勤ばかりでは、負担は重くなる一方です。

- ◎教育は国の根幹であることを政府は認識すべき。教員の給料が低すぎる。現状の仕事量なら今の倍以上の給料が妥当である。

- ◎現場に人と予算をつけることが多忙化解消につながる。それなしで、小手先のプランを作成しても、何年かすればもともとしてしまうのではないか。
- ◎変形労働時間制が導入されると、仕事量が増えたり、長時間勤務が固定化されないかと心配です。

勤務時間の割り振り

(割り振りの現状)

- ◎割り振りの指示は、ほとんどない。
- ◎「とってください」「と言われても、具体的にどうしたらよいか分からない。〇〇日以内」と言われても困る。
- ◎校長が自分勝手に割り振りの日をきめてしまうから、ほとんどとれない。時間外勤務をしても、次の日に校長から、「早く勤務を解きます」と勝手に言われて、自分の希望する日を選べない。
- ◎個人別の割振変更簿があるので、平日でもとりやすい。他の学校でもそうすべき。

- ◎割振変更簿を設置し、その記入の仕方、

- とり方について周知徹底してほしい。

- ◎仕事が多いので、割り振りはあまりとれていません。
- ◎忙しいのでとれない。割り振りをする日を考えてほしい。

- ◎とれるが、とりにくい雰囲気がある。若い人に(20代)に「割り振りだったら?」と言ったら、「そんなこと、言える身分じゃありませんから」と言われました。これって…?

(時間外勤務・休憩時間)

- ◎在校時間の短縮は求められるが、仕事量は減っていない。
- ◎朝8時から児童は登校し、教師も勤務時間前から実質の勤務となっていておかし。
- ◎時間外勤務ばかりです。成績シーズンはとくに、勤務時間内に終わることはできません。

- ◎昼の休憩は、ほぼないものとなっている。
- ◎休憩が昼放課に設定されているが、とることは不可能。

- ◎休憩は全くとれていない。校長も承認しているが、黙っている。おかしい!
- ◎休憩時間がいまいで、とれていない教員がほとんどなので、退校時間をくり上げてほしい。

その他

(駐車料金徴収問題)

- ◎職務のために車を使用するのに、駐車料金がかるのはやめほしい。
- ◎一部地区での駐車料金は、これからもいろいろ意見を言い、なくしてほしい。

(教員未配置問題)

- ◎教員採用を増やし、教員未配置問題を解決してほしい。
- ◎療養される方の補充がなく、校務や教務が代行しており、忙しさに拍車がかかっている。講師の確保が課題だと思ふ。

(教員免許更新制)

- ◎2回目の免許更新制が回ってきた。自分で講義を探したり、手続きしたりで、多忙化に拍車をかけています。夏休み等に自治体ごとに研修会を開くことで十分だと思います。
- ◎教員数が足りないと言って、免許を持たない人でも先生ができる、免許失効した教員に特別免許を発行して対応する、というのは教員免許更新制の意味が全くない。ぜひ廃止を。

- ◎免許更新制の廃止が多忙化解消につながる。
- ◎免許講習費用は研修費と別になっているが、納得いきませんね。

(働きやすい職場づくり)

- ◎何か問題があると、すぐに支援員さんが、そちらのクラスに回され、自分のクラスの子の支援が足りなくなる。もっと、四役の人が現状を知って、積極的にいろいろなクラスの支援に入ってもらいたい。クラスがぐちゃぐちゃになつてからは遅い。

- ◎パワハラがある学校がたくさん存在します。校長会などでも注意を呼びかけてほしい。